

教育職員免許状の取得について

教育職員となるためには、教育職員免許法（以下「免許法」という。）及び教育職員免許法施行規則に定められている所定の単位を修得し、希望する教科の免許状を取得する必要があります。

理学部において取得できる免許状の種類及び所要資格は、次表のとおりです。

なお、理学部を卒業し大学院へ進学する場合は、専修免許状取得のための科目の取扱いが異なる場合がありますので、進学先の学生便覧を必ず参照してください。

また、中学校の一種免許の取得を希望する場合は、特別支援学校及び社会福祉施設その他の施設で介護等体験（合計7日間）を行うことが必要です。その介護等体験の実施時期、内容及び場所については、Myもみじやピロティ掲示板で周知するので各自で確認してください。特に重要な情報のうち、ピロティ掲示板のみでお知らせする場合がありますので、ピロティ掲示板を見ることを習慣づけてください。

I 教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則の説明

1 普通免許状を取得するための所要資格

免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数					
		教科及び教職に関する科目					
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	計
中学校教諭	学士の学位を有すること。	28	10	10	7	4	59
高等学校教諭	学士の学位を有すること。	24	10	8	5	12	59

備考

- 1 本学部で取得できる免許状の種類及び教科は、理学部細則で学科ごとに決められていますが、必要な単位を修得すれば、他学科で取得できる免許状についても取得することができます。
- 2 本学部では、特別講義等の単位は上記の単位には含みません。
- 3 大学院で取得可能な専修免許状については、学生支援室にご相談ください。

2 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 教科に関する専門的事項

中学校教諭の場合

免許教科	教科に関する専門的事項に関する科目	大学において修得することを必要とする最低単位数
数 学	代数学	左欄に掲げる科目について、 それぞれ1単位以上 計20単位
	幾何学	
	解析学	
	「確率論，統計学」	
	コンピュータ	
理 科	物理学	左欄に掲げる科目について、 それぞれ1単位以上 計20単位
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	
	化学	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	
	生物学	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	
	地学	
地学実験（コンピュータ活用を含む。）		

高等学校教諭の場合

免許教科	教科に関する専門的事項に関する科目	大学において修得することを必要とする最低単位数
数 学	代数学	左欄に掲げる科目について、 それぞれ1単位以上 計20単位
	幾何学	
	解析学	
	「確率論，統計学」	
	コンピュータ	
理 科	物理学	左欄に掲げる科目について、 それぞれ1単位以上 計20単位
	化学	
	生物学	
	地学	
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）， 化学実験（コンピュータ活用を含む。）， 生物学実験（コンピュータ活用を含む。）， 地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	

(2) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

事項の区分	大学において修得することを必要とする最低単位数	
	中学校教諭	高等学校教諭
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8単位以上	4単位以上

3 教育の基礎的理解に関する科目

科目の区分		大学において修得することを必要とする最低単位数	
		中学校教諭	高等学校教諭
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		
	教育に関する社会的，制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		
	幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
	特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒に対する理解		
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			

4 道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目

科目の区分		大学において修得することを必要とする最低単位数	
		中学校教諭	高等学校教諭
道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8
	総合的な学習の時間の指導法		
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術，情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			

5 教育実践に関する科目

科目の区分		大学において修得することを必要とする最低単位数	
		中学校教諭	高等学校教諭
教育実践に関する科目	教育実習	5	3
	教職実践演習	2	2

6 教育職員免許法施行規則第66条の6関係

科目の区分	中高必修単位数
日本国憲法	2
体育	2
外国語コミュニケーション	2
数理，データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2

具体的な授業科目名は，各学科所属学生用の修得必要単位一覧表を確認してください。

2025（令和7）年4月入学の編入学生（2023（令和5）年度カリキュラム適用者）は，入学時に理学部学生支援室にて確認してください。

備考

1 【「教科及び教科の指導法に関する科目」について】

各教科の指導法については、それぞれ、受けようとする免許教科ごとに修得する必要があります。

2 【「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」について】

中学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、「道徳の理論及び指導法」「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動の指導法」「教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」「生徒指導の理論及び方法」「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」を含むものとし、高等学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動の指導法」「教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」「生徒指導の理論及び方法」「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」を含むものとします。

3 【教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目、教育実践に関する科目の流用について（中学校免許）】

中学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合、教育の基礎的理解に関する科目にあつては8単位まで、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目にあつては2単位まで、教育実践に関する科目（教育実習に係る部分に限る。）にあつては3単位まで、教育実践に関する科目（教育実践演習に係る部分に限る）にあつては2単位まで、他の学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合のそれぞれの科目の単位をもってあてることができます。

4 【教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目、教育実践に関する科目の流用について（高等学校免許）】

高等学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合、教育の基礎的理解に関する科目にあつては8単位まで、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目、教育実践に関する科目（教育実習に係る部分に限る。）並びに教育実践に関する科目（教育実践演習に係る部分に限る）にあつてはそれぞれ2単位まで、幼稚園、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合のそれぞれの科目の単位をもってあてることができます。

5 【編入学の場合の単位認定について】

既修得単位の認定が可能な場合がありますので、詳細については、チューター、教務委員又は理学部学生支援室員に尋ねてください。

6 大学が独自に設定する科目

理学部では、特に「大学が独自に設定する科目」を開設していません。大学において修得することを必要とする最低単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」をもってあてています。

Ⅱ 介護等体験

1 介護等体験について

- ★ 介護等体験は、事前ガイダンス、事前指導等に出席しなければ参加できません。
なお、ガイダンスは介護等体験（2年次）参加希望者を対象に、参加希望前年度（1年次）の10月頃に行う予定ですが、日程は年度により変更される場合があるので、必ず、もみじやピロティ掲示板等で確認してください。
- ★ ガイダンス、事前指導、実習等全てにおいて、無断欠席・遅刻等は認められません（即、体験停止もあり得ます）。

(1) 趣旨

「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる。」

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」第1条から抜粋

(2) 制度の対象者

中学校教諭一種免許状の授与を受けようとする者。

ただし、身体障害者手帳に障害の程度が1級から6級と記載されている者等については免除可能です（同法施行規則第3条第2項）。

(3) 介護等体験の期間

特別支援学校 2日間、社会福祉施設等 5日間の合計7日間

2 介護等体験の実施日程(例示)

追加・変更の場合があるので、日程は「My もみじ」やピロティ掲示板等で必ず確認してください。
なお、以下の日程は、2年次で体験を行う場合を例示しています。

1年次 (参加希望 前年度)	10月	教育職員免許状取得希望者向けガイダンス 兼 介護等体験 参加希望受付 (このガイダンスに参加していない場合、次年度の介護等体験 参加はできません)
	10月	介護等体験参加希望意志 最終確認
	2月	事前指導(理学部) 要レポート提出 (レポート未提出、又はレポート内容が基準に達して いない場合、次年度の介護等体験参加を認めません)
2年次 (参加希望 年度)	4月	事前指導(広島大学) 体験施設・時期等調整
	5月～12月	体験実施(特別支援学校 2日間)
	8月～翌年1月	体験実施(社会福祉施設等 5日間)

Ⅲ 教育実習

1 教育実習の履修について

★ 教育実習（事前指導含む）は、事前の理学部及び教育学部主催の説明会、実習前のオリエンテーション等に出席しなければ受講できません。

なお、理学部のガイダンスは中・高等学校教育実習Ⅰ（3年次）・Ⅱ（4年次）履修希望者を対象に、それぞれの履修前年度の12月頃に行う予定ですが、日程は年度により変更される場合がありますので、必ずみじやピロティ掲示板等で確認してください。

★ 介護等体験と同様に、説明会、オリエンテーション、実習等全てにおいて、無断欠席・遅刻等は認められません（即、実習停止もあり得ます）。

(1) 教育実習指導(事前指導)の履修について

授業科目名	対象	開設 Semester	単位	授業内容
教育実習指導C	中学校及び高等学校 教諭免許状取得希望者	4	1	講義及び演習
	高等学校 教諭免許状取得希望者	6		

備考:教育実習指導の受講にあたっては、出席、遅刻、学習態度、レポート提出などが厳格に評価されるので十分留意してください。

(2) 教育実習(本実習)の履修について

授業科目名	対象	開設 Semester	単位	授業内容
中・高等学校教育実習Ⅰ	中学校及び高等学校 教諭免許状取得希望者	6	4	各附属中・高等学校で実習
中・高等学校教育実習Ⅱ	高等学校 教諭免許状取得希望者	7	2	

2 教育実習受講資格について

(1) 中学校教諭免許状を取得する場合

■2年生後期(4Semester)の教育実習指導Cを受講するための条件

受講条件は特にありませんが、教育学部主催の「教育実習指導C説明会」(1月下旬頃)に出席しなければ履修登録が行われません(自分では履修登録できない科目です)。

■3年生後期(6Semester)の中・高等学校教育実習Ⅰを受講するための条件

次の条件の他、教育学部主催の「中・高等学校教育実習Ⅰ・Ⅱ説明会」(1月下旬頃)に出席しなければ履修登録が行われません(自分では履修登録できない科目です)。

- ① 教育実習指導Cの単位を修得していること。
- ② 2年次後期終了時点で、介護等体験を終了していること。
- ③ 2年次後期終了時点で、次の所定の単位を修得していること。ただし、本学で用意している「単位互換」が可能な留学制度により留学した者は、「3年次前期終了時点」とする。(該当する学生は、必ず留学前に申し出ること。)

【教科及び教科の指導法に関する科目】…以下の科目から**合計14単位以上**修得

右の14単位以上修得	「教科に関する専門的事項」から10単位を選択修得
	「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」から4単位を選択修得

【教育の基礎的理解に関する科目】及び【道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目】…以下の科目から**合計8単位以上**修得

右の6科目12単位から8単位以上修得	教職入門 (2単位)	教育の思想と原理 (2単位)
	教育と社会・制度 (2単位)	生徒・進路指導論 (2単位)
	特別活動指導法 (2単位)	教育方法・技術論及び情報活用教育論 (2単位)

なお, 所属学科で別途条件を設ける場合があります。一覧表等で確認してください。

(2) 高等学校教諭免許状を取得する場合

■ 3年次後期(6セメスター)の教育実習指導Cを受講するための条件

受講条件は特にありませんが, 教育学部主催の「教育実習指導 C 説明会」(1月下旬頃)に出席しなければ履修登録が行われません(自分では履修登録できない科目です)。

■ 4年次前期(7セメスター)の中・高等学校教育実習Ⅱを受講するための条件

次の条件の他, 教育学部主催の「中・高等学校教育実習Ⅰ・Ⅱ説明会」(1月下旬頃)に出席しなければ履修登録が行われません(自分では履修登録できない科目です)。

- ① 教育実習指導Cの単位を修得していること。
- ② 3年次後期終了時点で, 次の所定の単位を修得していること。

【教科及び教科の指導法に関する科目】…以下の科目から**合計14単位以上**修得

右の14単位以上修得	「教科に関する専門的事項」から10単位を選択修得
	「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」から4単位を選択修得

【教育の基礎的理解に関する科目】及び【道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目】…以下の科目から**合計14単位以上**修得

右の10科目18単位から14単位以上修得	教職入門 (2単位)	教育の思想と原理 (2単位)
	教育と社会・制度 (2単位)	生徒・進路指導論 (2単位)
	特別活動指導法 (2単位)	教育方法・技術論及び情報活用教育論 (2単位)
	児童・青年期発達論 (2単位)	特別支援教育 (1単位)
	教育課程論 (2単位)	総合的な学習の時間の指導法 (1単位)

なお, 所属学科で別途条件を設ける場合があります。一覧表等で確認してください。

IV 教職実践演習及び教員免許ポートフォリオについて

<教職実践演習について>

「教育職員免許法施行規則」の一部改正により、平成 22 年度入学生から「教職実践演習」（4 年生後期の授業）が新設されました。この授業は、教員免許状を取得するにあたり必要な知識技能などを習得していることを確認する授業です。それには、そうした知識技能などの習得状況を示すための証拠や振り返るための資料を残しておく必要があります。文部科学省は、“履修カルテ”を作成することを求めています。この“履修カルテ”に対応するものを、広島大学では『教員免許ポートフォリオ』と呼んでいます。

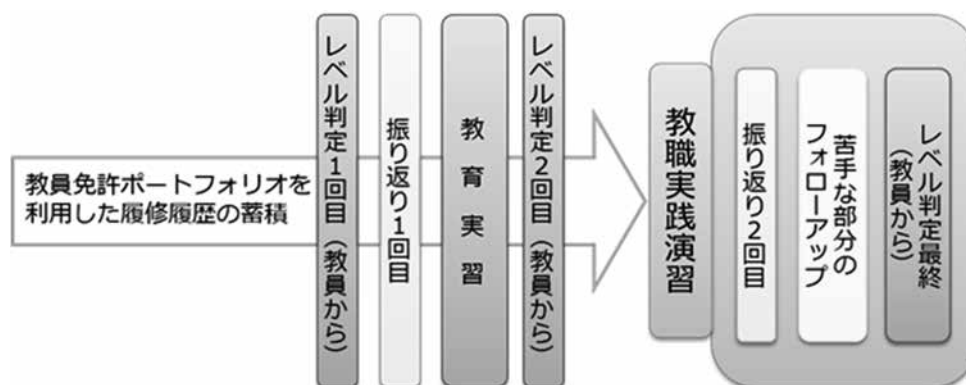
<教員免許ポートフォリオについて>

教員免許ポートフォリオには、教員免許状を取得する者として必要な知識技能などを習得していることを示す証拠や資料を、広島大学教員養成スタンダードの各規準に対応させて蓄積します。蓄積した証拠や資料は振り返りや教職実践演習の際に活用するほか、適切な時期に教員によって各規準の評価材として利用され、到達レベルが判定されます。

<教職実践演習までの流れ>

教職実践演習は、教員免許状を取得する際の必修科目です。教職実践演習を履修する場合、教員免許状の取得を希望する校種・教科のうち、主免許状として教育実習を受講する校種・教科に応じて、指定された証拠・資料を教員免許ポートフォリオに蓄積していく必要があります。校種・教科によっては1セメスターから蓄積しなければならない証拠・資料もあります。教員免許状の取得を希望する人は、授業内での指示や「My もみじ」等の連絡を見落とさないよう注意し、いつ、何を必要があるのかを把握するように努めてください。分からないことがあれば、チューター、または下記の問い合わせ先まで連絡してください。

【例】教職実践演習（中・高）を履修するまでの流れ図



問い合わせ先

問い合わせ内容	担当窓口	電話番号	E-mail アドレス
教職実践演習に関すること	教育学系総括支援室 (学士課程担当)	082-424-6725	kyoiku-gakusi@office.hiroshima-u.ac.jp
教員免許ポートフォリオに関すること	教育推進グループ (教員免許ポートフォリオ担当)	082-424-4683	e-port@office.hiroshima-u.ac.jp

V 教育職員免許状申請手続

1 免許状授与の申請手続について

卒業予定者で免許状の授与を願い出る方は、理学部学生支援室で一括申請するので以下の書類等を期日までに提出してください。

なお、書類等の提出が遅れた方または卒業後に免許状の授与を願い出る方は、個人で各都道府県教育委員会へ申請する必要があります。

- | | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 教育職員免許状授与願 | 所定の用紙 |
| (2) 学力に関する証明書 | 理学部学生支援室で作成します |
| (3) 介護等体験の証明書 | 中学校教諭一種免許状を申請する場合のみ必要 |
| (4) 申請手数料 | 1件につき3,400円(令和4年度実績)
→中学校及び高等学校教諭の同一教科を同時申請する場合は2件と計算します。
なお、所定の振込用紙を用いて支払います。 |

提出期日は、例年4年次の10～11月頃に予定していますが、変更される場合があるので、「Myもみじ」等の掲示板で必ず確認してください。

VI 理学部学生の単位修得方法

それぞれの免許取得に必要な科目名については、次頁以降の該当する表で確認して、必要な科目及び単位数を修得してください。

「I 教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則の説明」で記述している大学において修得することを必要とする最低単位数と、理学部学生が取得しなければならない単位数は異なっているので注意してください。

また、各科目の開設セメスターは「Myもみじ」のシラバスを利用して年度始めに必ず確認してください(年度によって変更される可能性があります)。

教育職員免許「数学」修得必要単位一覧表

(令和5年度数学科入学生用)

● 科目名、開設セメスター等は年度により変更される場合があるので、各年度始めに「Myもみじ」等の掲示で必ず確認してください。

1 第66条の6に定める科目		(教育職員免許法施行規則)				
科目の区分	科目名 (教養教育開講科目, ※は主専攻プログラムの必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考	
日本国憲法	日本国憲法	1～2	2	2		
体育	健康スポーツ科学		2	2	2	2単位選択必修 (スポーツ実習A及びスポーツ実習Bは、同一科目で合計2単位取得 可)
	スポーツ実習A					
	スポーツ実習B					
	スポーツ演習					
外国語コミュニケーション	※コミュニケーション I A		2	2	2	2科目選択必修 (同一科目で合計2単位取得 不可)
	※コミュニケーション I B					
	※コミュニケーション II A					
	※コミュニケーション II B					
数理, データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	※情報・データ科学入門		2	2		
合	計		8	8		

2 教科及び教科の指導法に関する科目

科目の区分	各科目に含めることが必要な事項	科目名 (理学部/教育学部開講科目, ○は免許 取得上の必修科目, △は選択必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教科に関する専門的事項	数学	代数学	1~8	4	4	中学校・高校免許で28単位, 高校免許で24単位を超えて 修得した単位は,「大学が独 自に設定する科目」に充当 可能
		幾何学		4	4	
		解析学		8	8	
		「確率論, 統計学」		2	2	
		コンピュータ		2	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			3 4 2 6 5	8	4	
合 計				28	24	

(※1)「数学教育学概論Ⅰ」「数学教育学概論Ⅱ」は中学校・高校免許, 高校免許ともに必修

(※2)「数学教育方法論」「数学教育カリキュラム論」は中学校・高校免許のみ必修

3 教育の基礎的理解に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、 ○は免許取得上の必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の思想と原理	3	2	2	本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で10単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	3	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育と社会・制度	4	2	2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○児童・青年期発達論	5	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	5	1	1	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論 教育方法学Ⅰ 教育方法学Ⅱ	5 2 2	2	2	
合 計			11	11	

上記の科目のほかに、人権・同和教育(2単位:「卒業要件」の単位に換算されない)の履修を要します。

4 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、 ○は免許取得上の必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
道徳の理論及び指導法	○道徳教育指導法	5	2		本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で8単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	6	1	1	
特別活動の指導法	○特別活動指導法	4	2	2	
教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○教育方法・技術論及び情報活用教育論	4	2	2	
生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	4	2	2	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談	6	2	2	
合 計			11	9	

5 教育実践に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、○は免許取得上の必修科目、△は選択必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育実習	○教育実習指導C(※1)	4/6	1	1	
	△中・高等学校教育実習Ⅰ(※2)	6	4		
	△中・高等学校教育実習Ⅱ(※2)	7		2	
教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	8	2	2	
合 計			7	5	

(※1)「教育実習指導C」は、中学校及び高等学校教諭免許状取得希望者は4セメスター、高等学校教諭免許状取得希望者は6セメスターで受講すること。

(※2)「中・高等学校教育実習Ⅰ・Ⅱ」を履修するためには、以下の要件をすべて満たしていることを原則とする。

【3年次で「中・高等学校教育実習Ⅰ」を履修する場合】

- 「数学情報課題研究」の受講基準1に掲げる必修科目38単位中、少なくとも32単位を修得していること。
- 「数学情報課題研究」の受講基準4の要件を満たすこと。
- 2年次終了時における全学基準のGPAが、45.00以上であること。

【4年次で「中・高等学校教育実習Ⅰ」又は「中・高等学校教育実習Ⅱ」を履修する場合】

- 「数学情報課題研究」の受講基準を満たすこと。

6 大学が独自に設定する科目

科目名(理学部 / 教育学部開講科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」をもってあてる	1~8	4以上	12以上	

7 その他

区分	名	開設 セメスター	中高	高校	備考
介護等体験	介護等体験	3~4	必要	-	高校免許のみ取得の場合、不要

教育職員免許「理科」修得必要単位一覧表

(令和5年度物理学科入学生用)

● 科目名, 開設セメスター等は年度により変更される場合があるので, 各年度始めに「Myもみじ」等の掲示で必ず確認してください。

1 第66条の6に定める科目		(教育職員免許法施行規則)				
科目の区分	科目名 (教養教育開講科目, ※は主専攻プログラムの必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考	
日本国憲法	日本国憲法	1~2	2	2		
体育	健康スポーツ科学		2	2	2	2単位選択必修 (スポーツ実習A及びスポーツ実習Bは, 同一科目で合計2単位取得 <u>可</u>)
	スポーツ実習A					
	スポーツ実習B					
	スポーツ演習					
外国語コミュニケーション	※コミュニケーション I A		2	2	2	2科目選択必修 (同一科目で合計2単位取得 <u>不可</u>)
	※コミュニケーション I B					
	※コミュニケーション II A					
	※コミュニケーション II B					
数理, データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	※情報・データ科学入門		2	2		
合	計		8	8		

2 教科及び教科の指導法に関する科目

科目の区分	各科目に含めることが必要な事項	科目名 (理学部/教育学部開講科目, ○は免許取得上の必修科目, △は選択必修科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考			
教科に関する専門的事項	理科	物理学	○力学A 力学B 力学演習 物理数学B 解析力学 熱力学 電磁気学 I 電磁気学演習 物理数学C 電磁気学 II 量子力学 I 物理数学D 量子力学 II 量子力学演習 統計力学 I 統計力学 II 統計力学演習 物理学演習 物理数学A 物理学序論 電磁・量力演習 物理学数値計算法 物理学概説A 物理学概説B 物理学実験法 物理学セミナー 先端物理学 固体の構造と物性 相対性理論 応用電磁力学 分子物理学 量子力学 III 固体物理学 I 原子核素粒子物理学 宇宙天体物理学 連続体力学 相対論的量子力学 固体物理学 II	1~7	2	2	中学校・高校免許で28単位, 高校免許で24単位を超えて修得した単位は, 「大学が独自に設定する科目」に充当可能		
		化学	○化学概説A ○化学概説B	1 2	4	4			
		生物学	○生物科学概説A ○生物科学概説B	1 2	4	4			
		地学	○地球惑星科学概説A ○地球惑星科学概説B	1 2	4	4			
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験 I ○物理学実験 II	5 6	6	6			
		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	○化学実験A (注)	5	1				
		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	○生物学実験A	4	1				
		地学実験(コンピュータ活用を含む。)	○地学実験A	3	1				
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○自然システム(理科)教育法 I ○自然システム(理科)教育法 II 自然システム(理科)教育実践論 △理科カリキュラム論 △理科授業プランニング論 △理科教材プランニング論	3 4 5 3 4 5	8		4	中学校・高校免許では, 「理科カリキュラム論」「理科授業プランニング論」「理科教材プランニング論」の3科目の中から2科目選択必修
			合 計			31		24	

(注) 「化学実験A」を受講するまでに, 教養教育科目「化学実験法・同実験 I」及び「化学実験法・同実験 II」を修得しておく必要があります。詳細は, 受講予定前年度のシラバスで確認してください。

3 教育の基礎的理解に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、 ○は免許取得上の必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の思想と原理	3	2	2	本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で10単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	3	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育と社会・制度	4	2	2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○児童・青年期発達論	5	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	5	1	1	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論 教育方法学Ⅰ 教育方法学Ⅱ	5 2 2	2	2	
合 計			11	11	

上記の科目のほかに、人権・同和教育(2単位:「卒業要件」の単位に換算されない)の履修を要します。

4 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、 ○は免許取得上の必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
道徳の理論及び指導法	○道徳教育指導法	5	2		本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で8単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	6	1	1	
特別活動の指導法	○特別活動指導法	4	2	2	
教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○教育方法・技術論及び情報活用教育論	4	2	2	
生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	4	2	2	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談	6	2	2	
合 計			11	9	

5 教育実践に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、○は免許取得上の必修科目、△は選択必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育実習	○教育実習指導C(※1)	4/6	1	1	
	△中・高等学校教育実習Ⅰ(※2)	6	4		
	△中・高等学校教育実習Ⅱ(※2)	7		2	
教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	8	2	2	
合 計			7	5	

(※1)「教育実習指導C」は、中学校及び高等学校教諭免許状取得希望者は4セメスター、高等学校教諭免許状取得希望者は6セメスターで受講すること。

6 大学が独自に設定する科目

科目名(理学部 / 教育学部開講科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」をもってあてる	1~8	4以上	12以上	

7 その他

区分	名	開設 セメスター	中高	高校	備考
介護等体験	介護等体験	3~4	必要	-	高校免許のみ取得の場合、不要

教育職員免許「理科」修得必要単位一覧表

(令和5年度化学科入学生用)

● 科目名, 開設セメスター等は年度により変更される場合があるので, 各年度始めに「Myもみじ」等の掲示で必ず確認してください。

1 第66条の6に定める科目		(教育職員免許法施行規則)				
科目の区分	科目名 (教養教育開講科目, ※は主専攻プログラムの必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考	
日本国憲法	日本国憲法	1~2	2	2		
体育	健康スポーツ科学		2	2	2	2単位選択必修 (スポーツ実習A及びスポーツ実習Bは, 同一科目で合計2単位取得 可)
	スポーツ実習A					
	スポーツ実習B					
	スポーツ演習					
外国語コミュニケーション	※コミュニケーション I A		2	2	2	2科目選択必修 (同一科目で合計2単位取得 不可)
	※コミュニケーション I B					
	※コミュニケーション II A					
	※コミュニケーション II B					
数理, データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	※情報・データ科学入門		2	2		
合	計		8	8		

2 教科及び教科の指導法に関する科目

科目の区分		科目名 (理学部/教育学部開講科目, ○は免許 取得上の必修科目, △は選択必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考			
教科に関する専 門的事項	理科	物理学	○物理学概説A ○物理学概説B	1 2	4	4	中学校・高校免許で28単位, 高校免許で24単位を超えて 修得した単位は,「大学が独 自に設定する科目」に充当 可能		
		化学	○基礎化学A ○基礎化学B 化学概説A 化学概説B 基礎物理化学A 基礎物理化学B 基礎無機化学 基礎有機化学 物理化学ⅠA 物理化学ⅠB 物理化学ⅡA 物理化学ⅡB 無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 無機化学Ⅲ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 物理化学演習 無機化学演習 有機化学演習 先端化学 反応動力学 分子構造化学 量子化学 生体高分子化学 分子光化学 無機固体化学 機器分析化学 有機金属化学 放射化学 有機分析化学 生物構造化学 生体物質化学 構造有機化学 生物化学 有機合成化学 反応有機化学 光機能化学 システムバイオロジー バイオインフォマティクス 計算化学・同実習 化学演習	1~7	4	4			
		生物学	○生物科学概説A ○生物科学概説B	1 2	4	4			
		地学	○地球惑星科学概説A ○地球惑星科学概説B	1 2	4	4			
		物理学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○物理学実験A	3	1				
		化学実験(コンピュータ活用を含 む。)	○化学実験Ⅰ ○化学実験Ⅱ	5 6	10	10			
		生物学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○生物学実験A	4	1				
		地学実験(コンピュータ活用を含 む。)	○地学実験A	3	1				
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○自然システム(理科)教育法Ⅰ ○自然システム(理科)教育法Ⅱ 自然システム(理科)教育実践論 △理科カリキュラム論 △理科授業プランニング論 △理科教材プランニング論	3 4 5 3 4 5	8		4	中学校・高校免許では,「理 科カリキュラム論」「理科授 業プランニング論」「理科教 材プランニング論」の3科目 の中から2科目選択必修
		合		計		37		30	

3 教育の基礎的理解に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目, ○は免許取得上の必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の思想と原理	3	2	2	本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で10単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	3	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育と社会・制度	4	2	2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○児童・青年期発達論	5	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	5	1	1	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論 教育方法学Ⅰ 教育方法学Ⅱ	5 2 2	2	2	
合 計			11	11	

上記の科目のほかに、人権・同和教育(2単位:「卒業要件」の単位に換算されない)の履修を要します。

4 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目, ○は免許取得上の必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
道徳の理論及び指導法	○道徳教育指導法	5	2		本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で8単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	6	1	1	
特別活動の指導法	○特別活動指導法	4	2	2	
教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○教育方法・技術論及び情報活用教育論	4	2	2	
生徒指導の理論及び方法					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○生徒・進路指導論	4	2	2	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談	6	2	2	
合 計			11	9	

5 教育実践に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目, ○は免許取得上の必修科目, △は選択必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育実習	○教育実習指導C(※1)	4/6	1	1	
	△中・高等学校教育実習Ⅰ(※2)	6	4		
	△中・高等学校教育実習Ⅱ(※2)	7		2	
教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	8	2	2	
合 計			7	5	

(※1)「教育実習指導C」は、中学校及び高等学校教諭免許状取得希望者は4セメスター、高等学校教諭免許状取得希望者は6セメスターで受講すること。

(※2)「中・高等学校教育実習Ⅰ・Ⅱ」は、GPA50.00以上で、かつ、チューターの許可を得た学生に限り履修が認められる。

6 大学が独自に設定する科目

科目名(理学部 / 教育学部開講科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」をもってあてる	1~8	4以上	12以上	

7 その他

区分	名	開設 セメスター	中高	高校	備考
介護等体験	介護等体験	3~4	必要	-	高校免許のみ取得の場合、不要

教育職員免許「理科」修得必要単位一覧表

(令和5年度生物科学科入学生用)

● 科目名, 開設セメスター等は年度により変更される場合があるので, 各年度始めに「Myもみじ」等の掲示で必ず確認してください。

1 第66条の6に定める科目		(教育職員免許法施行規則)				
科目の区分	科目名 (教養教育開講科目, ※は主専攻プログラムの必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考	
日本国憲法	日本国憲法	1~2	2	2		
体育	健康スポーツ科学		2	2	2	2単位選択必修 (スポーツ実習A及びスポーツ実習Bは, 同一科目で合計2単位取得 <u>可</u>)
	スポーツ実習A					
	スポーツ実習B					
	スポーツ演習					
外国語コミュニケーション	※コミュニケーション I A		2	2	2	2科目選択必修 (同一科目で合計2単位取得 <u>不可</u>)
	※コミュニケーション I B					
	※コミュニケーション II A					
	※コミュニケーション II B					
教理, データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	※情報・データ科学入門	2	2			
合	計		8	8		

2 教科及び教科の指導法に関する科目

科目の区分		科目名 (理学部/教育学部開講科目, ○は免許 取得上の必修科目, △は選択必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考		
教科に関する専 門的事項	理科	物理学	○物理学概説A ○物理学概説B	1 2	4	4	中学校・高校免許で28単位, 高校免許で24単位を超えて 修得した単位は,「大学が独 自に設定する科目」に充当 可能	
		化学	○化学概説A ○化学概説B	1 2	4	4		
		生物学	○基礎生物科学A ○基礎生物科学B 生物科学概説A 生物科学概説B 生物科学セミナー 微生物学 生化学A 生化学B 遺伝学A 遺伝学B 細胞生物学A 細胞生物学B 分子遺伝学A 分子遺伝学B 動物生理学A 動物生理学B 発生生物学A 発生生物学B 植物生理学A 植物生理学B 植物生態学A 植物生態学B 分子細胞情報学 情報生物学 動物形態制御学 比較発生学 内分泌学・免疫学 植物分類学 植物形態学 先端生物学 ゲノム生物学 システム生物学 再生生物学 発生生物学演習 細胞生物学演習 分子生理学演習 植物分類生態学演習 植物生理化学演習 植物分子細胞構築学演習 分子遺伝学演習 分子形質発現学演習 遺伝子化学演習 進化発生学演習 島嶼生物学演習 植物遺伝子資源学演習 両生類生物学演習	1~8	4	4		
		地学	○地球惑星科学概説A ○地球惑星科学概説B	1 2	4	4		
		物理学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○物理学実験A	3	1			
		化学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○化学実験A(注)	5	1			
		生物学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○生物科学基礎実験Ⅰ ○生物科学基礎実験Ⅱ ○生物科学基礎実験Ⅲ ○生物科学基礎実験Ⅳ 植物地理学実習 海洋生物学実習A 海洋生物学実習B 宮島生態学実習 公開臨海実習 海洋生物教育臨海実習	1~6	18	18		
		地学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○地学実験A	3	1			
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○自然システム(理科)教育法Ⅰ ○自然システム(理科)教育法Ⅱ 自然システム(理科)教育実践論 △理科カリキュラム論 △理科授業プランニング論 △理科教材プランニング論	3 4 5 3 4 5	8	4		中学校・高校免許では,「理 科カリキュラム論」「理科授 業プランニング論」「理科教 材プランニング論」の3科目 の中から2科目選択必修
		合 計				45		38

(注) 「化学実験A」を受講するまでに, 教養教育科目「化学実験法・同実験Ⅰ」及び「化学実験法・同実験Ⅱ」を修得しておく必要があります。
詳細は, 受講予定前年度のシラバスで確認してください。

3 教育の基礎的理解に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、 ○は免許取得上の必修科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の思想と原理	3	2	2	本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で10単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	3	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育と社会・制度	4	2	2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○児童・青年期発達論	5	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	5	1	1	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論 教育方法学Ⅰ 教育方法学Ⅱ	5 2 2	2	2	
合 計			11	11	

上記の科目のほかに、人権・同和教育(2単位:「卒業要件」の単位に換算されない)の履修を要望します。

4 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、 ○は免許取得上の必修科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
道徳の理論及び指導法	○道徳教育指導法	5	2		本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で8単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	6	1	1	
特別活動の指導法	○特別活動指導法	4	2	2	
教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○教育方法・技術論及び情報活用教育論	4	2	2	
生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	4	2	2	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談	6	2	2	
合 計			11	9	

5 教育実践に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、○は免許取得上の必修科目、△は選択必修科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育実習	○教育実習指導C(※1)	4/6	1	1	
	△中・高等学校教育実習Ⅰ	6	4		
	△中・高等学校教育実習Ⅱ	7		2	
教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	8	2	2	
合 計			7	5	

(※1)「教育実習指導C」は、中学校及び高等学校教諭免許状取得希望者は4semester、高等学校教諭免許状取得希望者は6semesterで受講すること。

6 大学が独自に設定する科目

科目名(理学部 / 教育学部開講科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」をもってあてる	1~8	4以上	12以上	

7 その他

区分	名	開設 semester	中高	高校	備考
介護等体験	介護等体験	3~4	必要	-	高校免許のみ取得の場合、不要

教育職員免許「理科」修得必要単位一覧表

(令和5年度地球惑星システム学科入学生用)

● 科目名, 開設セメスター等は年度により変更される場合があるので, 各年度始めに「Myもみじ」等の掲示で必ず確認してください。

1 第66条の6に定める科目		(教育職員免許法施行規則)				
科目の区分	科目名 (教養教育開講科目, ※は主専攻プログラムの必修科目)	開設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考	
日本国憲法	日本国憲法	1~2	2	2		
体育	健康スポーツ科学		2	2	2	2単位選択必修 (スポーツ実習A及びスポーツ実習Bは, 同一科目で合計2単位取得 <u>可</u>)
	スポーツ実習A					
	スポーツ実習B					
	スポーツ演習					
外国語コミュニケーション	※コミュニケーション I A		2	2	2	2科目選択必修 (同一科目で合計2単位取得 <u>不可</u>)
	※コミュニケーション I B					
	※コミュニケーション II A					
	※コミュニケーション II B					
数理, データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	※情報・データ科学入門	2	2			
合	計		8	8		

2 教科及び教科の指導法に関する科目

科目の区分		科目名 (理学部/教育学部開講科目, ○は免許 取得上の必修科目, △は選択必修科目)	開 設 セメスター	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考		
教科に関する専 門的事項	理科	物理学	○物理学概説A ○物理学概説B	1 2	4	4	中学校・高校免許で28単位, 高校免許で24単位を超えて 修得した単位は,「大学が独 自に設定する科目」に充当 可能	
		化学	○化学概説A ○化学概説B	1 2	4	4		
		生物学	○生物科学概説A ○生物科学概説B	1 2	4	4		
		地学	○地球惑星科学概説A ○地球惑星科学概説B 地球惑星物質学基礎 地球惑星物質学基礎演習 地球惑星物質学演習II 地質図学 堆積学・古生物学I 岩石学 結晶光学演習 岩石学演習 岩石変形学II 固体地球化学 I 宇宙科学演習 地球惑星物質学I 地球惑星物質学演習I 地球惑星内部物理学 I 地球惑星内部物理学II 地球惑星内部物理学演習A 地球惑星内部物理学演習B 堆積学・古生物学II 岩石変形学I 宇宙地球化学 アストロバイオロジー 地球惑星物質学II 地球惑星内部物理学A 地球惑星内部物理学B 固体地球化学 II 先端地球惑星科学 地球テクトニクス 太陽系物質進化学	1~6	4	4		
		物理学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○物理学実験A	3	1			
		化学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○化学実験A (注)	5	1			
		生物学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○生物学実験A	4	1			
		地学実験(コンピュータ活用を 含む。)	○地球科学野外巡検A ○地球科学野外巡検B ○地球惑星システム学実習A ○地球惑星システム学実習B	1 4 5 5	8	8		
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○自然システム(理科)教育法 I ○自然システム(理科)教育法 II 自然システム(理科)教育実践論 △理科カリキュラム論 △理科授業プランニング論 △理科教材プランニング論	3 4 5 3 4 5	8	4		中学校・高校免許では,「理 科カリキュラム論」「理科授 業プランニング論」「理科教 材プランニング論」の3科目 の中から2科目選択必修
		合 計				35		28

(注) 「化学実験A」を受講するまでに, 教養教育科目「化学実験法・同実験 I」及び「化学実験法・同実験 II」を修得しておく必要があります。
詳細は, 受講予定前年度のシラバスで確認してください。

3 教育の基礎的理解に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、 ○は免許取得上の必修科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の思想と原理	3	2	2	本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で10単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	3	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育と社会・制度	4	2	2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○児童・青年期発達論	5	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	5	1	1	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論 教育方法学Ⅰ 教育方法学Ⅱ	5 2 2	2	2	
合 計			11	11	

上記の科目のほかに、人権・同和教育(2単位:「卒業要件」の単位に換算されない)の履修を要します。

4 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、 ○は免許取得上の必修科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
道徳の理論及び指導法	○道徳教育指導法	5	2		本学部では中学校・高校免許で10単位、高校免許で8単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に充当可能
総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	6	1	1	
特別活動の指導法	○特別活動指導法	4	2	2	
教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○教育方法・技術論及び情報活用教育論	4	2	2	
生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	4	2	2	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談	6	2	2	
合 計			11	9	

5 教育実践に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名 (教育学部開講科目、○は免許取得上の必修科目、△は選択必修科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
教育実習	○教育実習指導C(※1)	4/6	1	1	
	△中・高等学校教育実習Ⅰ	6	4		
	△中・高等学校教育実習Ⅱ	7		2	
教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	8	2	2	
合 計			7	5	

(※1)「教育実習指導C」は、中学校及び高等学校教諭免許状取得希望者は4semester、高等学校教諭免許状取得希望者は6semesterで受講すること。

6 大学が独自に設定する科目

科目名(理学部 / 教育学部開講科目)	開設 semester	中高必修 単位数	高校必修 単位数	備考
最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」をもってあてる	1~8	4以上	12以上	

7 その他

区分	名	開設 semester	中高	高校	備考
介護等体験	介護等体験	3~4	必要	-	高校免許のみ取得の場合、不要